

「落花生」生育情報（第3報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

平成30年 9月10日
千葉県農林水産部
生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育を情報提供するものです。

調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

1 生育状況

さや実が肥大する8月の天候は、平年と比較して、気温は平年並みから高めに推移し、日照時間は多くなりました。また、降水量は、地域によって差がありました。

調査ほ場における8月30日現在の生育状況は、平年と比較して、乾燥さや実重は、平年並み～やや多くなっています。

表1 作況調査成績（8月30日調査）

品種名	年次	開花期	さや実数 (個/m ²)	(さや実数のうち)		生さや実重 (g/m ²)	乾燥さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合(%)
				上さや数 (個/m ²)				
千葉半立 (本年平均は種日 6月1日)	本年	7/10	266	92		794	202	0.3
	前年	7/10	229	79		823	175	0.8
	平年	7/9	230	102		784	188	2.9
ナカテユタカ (本年平均は種日 5月20日)	本年	6/29	355	186		1,081	366	3.3
	前年	6/29	304	130		1,060	314	0.8
	平年	7/4	296	146		1,046	310	3.5
おおまさり (本年平均は種日 6月1日)	本年	7/6	172	29		853	164	0.5
	前年	7/1	171	27		906	173	1.0
	平年	7/5	200	51		926	172	1.4
千葉 P114 号 (本年平均は種日 5月29日)	本年	7/9	281	130		817	256	0.0

* 本年値は、各品種の調査結果の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取の3地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・君津の3地区、「おおまさり」は千葉・印旛・君津の3地区、「千葉 P114 号」は、千葉、印旛、香取、長生の4地区。

* 平年値は、平成23年から29年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。

表2 (参考) 落花生研究室（八街市）の作況（本年の値、8月31日調査）

は種日	品種名	開花期	さや実数 (個/m ²)	(さや実数のうち)		生さや実重 (g/m ²)	乾燥さや実重 (g/m ²)	上さや 不稔歩合(%)	収穫期 目安(※)
				上さや数 (個/m ²)					
5月19日 (標播)	千葉半立	6/30 (+3)	331 (112%)	136 (109%)		1,161 (117%)	339 (117%)	0.0 (0%)	10/3 (+3)
	ナカテユタカ	6/28 (+2)	304 (95%)	131 (109%)		893 (88%)	348 (99%)	5.0 (333%)	9/16 (+2)
	おおまさり	6/27 (+2)	250 (110%)	54 (81%)		1,291 (108%)	278 (98%)	0.0 (0%)	9/25 (+2)
	千葉 P114 号	6/28 (+1)	280 (96%)	120 (95%)		934 (100%)	326 (101%)	0.0 (0%)	9/16 (+1)
6月9日 (晩播)	千葉半立	7/11 (-2)	261 (101%)	92 (185)		818 (94%)	184 (114%)	0.0 (0%)	10/14 (-2)
	ナカテユタカ	7/11 (-1)	305 (120%)	166 (202%)		972 (120%)	267 (112%)	0.0 (0%)	9/29 (-1)
	おおまさり	7/11 (-1)	198 (132%)	41 (125%)		1,226 (136%)	194 (126%)	0.0 (0%)	10/9 (-1)
	千葉 P114 号	7/12 (-1)	247 (94%)	129 (146%)		796 (93%)	231 (105%)	0.0 (0%)	9/30 (-1)

※落花生研究室の栽植密度は、「千葉半立」、「ナカテユタカ」、「千葉 P114 号」は 5,128 株/10a。

「おおまさり」は 2,564 株/10a。カッコ内は平成 28、29 年の平均値対比を示す。

収穫期の目安は、開花期後の標準日数で算出。

2 これからの管理のポイント

(1) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

収穫時期が近づいてきたら、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないように気をつけましょう。 砂地の地域では収穫期が早まるので、早めに試し掘りをしましょう。

表3 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり	千葉P114号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで莢用)	80日後

(2) 適切な乾燥の実施

掘り取った落花生は、5～7日間の地干しの後、風通しの良い場所を選んで野積み(ボッチ積み)やトンネル乾燥を行い、さらに乾燥させます。

〔野積み(ボッチ積み)〕

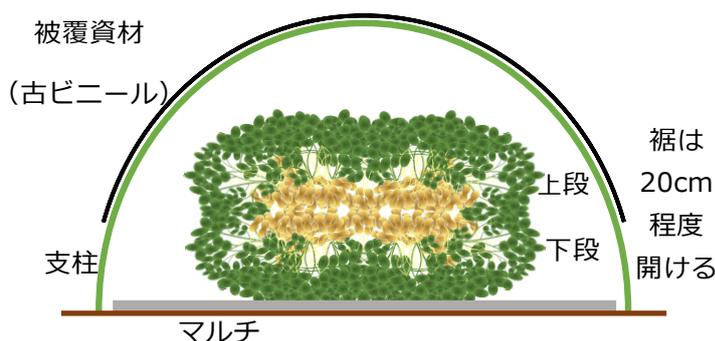
野積みは、湿気がこもらないように管理することが大切です。風通しの良い場所に小さく野積みし、頂部をブルーシートや稲わら等で覆い、雨をしっかりと防ぎましょう。透明ビニールシートは熱がこもりやすく、カビの発生要因となるため、使用しないでください。特に早い時期に収穫した品種は、茎葉が多く蒸れやすいため、注意が必要です。



野積み

〔トンネル乾燥〕

トンネル乾燥は、収穫後3～7日程度地干しを行った後に、降雨の前に雨よけトンネルに入れて乾燥を行う方法です。カビを発生させることなく、野積みによる乾燥と同じ品質の落花生を得ることができます。トンネル内では、地干しした株の莢が内側になるよう上下2段で積み、2～3週間程度乾燥させます。



トンネル乾燥の模式図

詳細は、千葉県ホームページ内のフィールドノート平成30年9月「雨よけトンネルを活用した食味を落とさない落花生の乾燥方法」

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/network/field-h30/hata-2018-09.html>)を参照してください。

